# 一般質問

# 市政のここが聞きたい

本会議の進行を務める島崎孝副議長
（副議長は会議の進行を務めるため
一般質問は行いません）

第1回定例会の一般質問は、3月3日・4日・5日・6日の4日間で行われ、各議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。

一般質問を含む第1回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信からご覧いただけます。会議録は、5月下旬から、市ホームページ（PDF版は5月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。

パソコンから市ホームページにアクセスし、ご覧下さい。
東久留米市議会 映像配信
トップページ
会議名で検索
議員名で検索
会派で検索
用語で検索
映像配信［トップページ］

東久留米市議会
会議録検索システム
（https://www.city.higashikurume.tokyo.dbsr.jp/index.php/）

## Ryoma is back!

**宮川　豊史（久留米ハートネット）**

**質問**　富田市長が2期目の当選を果たし、1期目4年間の市役所全体の取り組みが高く評価されて本当に良かった。2期目は、新しいまちづくりの理想像を示し、具体的な政策を実行し結果を出すことが最大のテーマ。東久留米の竜馬になるのは富田市長しかいない！自分が信じる道を突き進むのが竜馬。今の日本の政治は積極財政だが私は疑問。なぜなら行政の役割が大きくなればなるほど、いずれ増税や借金につながるから。富田市長の考えは？

**答弁**　行政を肥大化させるべきではないが、国の方針で遂行することもあり、改革のために費用をかけることもある。

**質問**　改革は公務員削減につながらないと意味がない。民営化の取り組みは。

**答弁**　サービスの安定供給と質の維持のため民間活力導入の検討を進める。

**質問**　道の駅への決意は？

**答弁**　この2年間で基本構想を作る。

## 熱意が感じられない市民協働施策

**間宮　美季（市民自治フォーラム）**

**質問**　市長の所信表明において市民協働について述べていないが、この先4年間でどのように進めていくのか。

**市長**　協働によるまちづくりを推進するため、引き続き、本事業の意識啓発および情報発信に努める。

**質問**　2階の現生活文化課フロアについて、4課4係が一つのフロアに集約され、管理職は別のフロアになると推察するが、責任者は誰になるのか。直接、市民対応がある場に少なくとも1人は課長職が居るべきではないか。

**答弁**　各課の課長職は庁舎内の別のフロアに自席を構え、責任者となるが、現場を巡回する、また担当とコミュニケーションを密にするなどの対応により、管理職としての責務を果たすことはもとより、4月以降、市民の方々が相談しやすい窓口となるよう、課長職も連携して取り組んでいくとの共通認識を図っている。

## 東久留米市をもっとＰＲ！

**引間　太一（ニューウェーブ）**

**質問**　市のＰＲについて、市の知名度を上げるような取り組みを伺う。

**答弁**　令和6年8月より、企業版ふるさと納税の募集を通じて市外の民間企業へ本市の魅力を発信。同年12月からは、公式動画チャンネルでのショート動画配信を開始。昨年1月からは市内の大型商業施設にデジタルサイネージを設置し、市政情報等をタイムリーに届けるなど、シティプロモーションに資する新たな取り組みを展開している。

**質問**　「未来☆くるめ学習（ミラ☆くる）」について、来年度、全校で取り組む内容を伺う。

**答弁**　地域の課題をこどもたちが発見し、こどもたちの発想の下、具体的な内容はこどもたちを主語に組み立てられ、実践していく。さらに、地域に働きかけ、地域に貢献し、地域からの評価もいただきながら、自己の学習を振り返る学習活動を設定する。

## 失語症支援と不動橋広場の整備は

**梶井　琢太（市議会立憲民主）**

**質問**　失語症は脳卒中や交通事故などが原因で脳の機能が低下し会話や読み書きなどがうまくできない障害で、リハビリや外出サポートが不可欠。都は養成する意思疎通支援者を市と共に失語症者へ派遣できるが、実施自治体は多摩地域で2市のみ。各市の課題は。

**答弁**　支援者不足や当事者と支援者のマッチングが難しい。また派遣コーディネート事業は受託先が限定される上に財政負担が多く実施は困難な状況。

**質問**　今後の支援への取り組みは。

**答弁**　広域的コーディネートと失語症サロン増設の要望を都へ提出することで多数の課長会構成市から賛同を得た。

**質問**　来年度実施予定の不動橋広場で、遊具やトイレ整備について詳細は。

**答弁**　現在のトイレを撤去、バリアフリートイレ含む2室タイプの水洗トイレを設置。災害時へ太陽光パネルや蓄電池を備え、防犯カメラの設置も検討。

## 市役所の大規模改修は低予算で

**佐藤　一郎（東久留米維新の会）**

**質問**　このたび本庁舎改修基本計画（案）が示されたが、その中で概算工事費は約118億円であることが示された。今後も工事費は上昇するとも考えられる。いかに工事費を削減していくかが課題になるが、市の考えは。

**答弁**　工事の内容等の詳細な整理・検討が必要であり、基本設計において計画の具体化に向けたより一層の工事内容等の精査を行う必要があるとしている。この工事内容等の精査を行う中において、現下の厳しい財政状況を踏まえながら、工事費の低減を念頭に置き取り組む必要があると考えている。

**質問**　大規模改修後は庁舎の維持管理費用も削減すべきと考えるが。

**答弁**　改修工事の内容として、空調機等について高効率な機器を導入することを考えている。光熱水費の低減効果として、現段階では年間で3千万円程度が削減できると試算している。

## 第五小北側土地取得と建て替え構想

**岩崎　さやこ（国民民主党）**

**質問**　①南部地域の児童・生徒数の将来推計、②第五小学校北側の土地取得の経緯と全体の購入完了時期を伺う。

**答弁**　①都の教育人口推計より、令和7年度実数と令和12年度では、第五小学校が26学級809人から22学級679人、南町小学校が18学級480人から13学級321人、南中学校が15学級499人から17学級542人。②第五小学校北側の土地の処分が検討されているとの情報提供などから、隣接する土地を含め第五小学校新校舎の建設や仮設校舎の設置等、南中学校新設時の候補用地として活用を想定。処分が検討されている土地以外、現時点で取得できる状況にはない。

**質問**　ハイリー・センシティブ・チャイルドと言われる、人一倍刺激を受けやすく敏感なこどもの不登校対策は。

**答弁**　保護者と連携しながら、こどもの状況に応じて、教室環境への配慮や別室・相談室等での対応を行っている。

## 学校は誰のものでしょうか？

**かやま　玲子（れいわ新選組東久留米）**

**質問**　学校施設更新に向けた基本方針（案）の検討に際し、教育委員会がどのように関わったのか伺う。

**答弁**　学校配置において、教育的視点から重んじるべきは、利便性の高さ、事故に巻き込まれるリスクに関わる通学距離であると主張。学校施設においては、直ちに学校再編に向けた検討を行うのではなく、議論を重ね、状況に応じた対応を図っていくよう整理。

**意見**　学校は地域住民のものでもあり広く住民に開かれた場で議論、決定されるべき。次の議会でも質問する。

**質問**　市として芸術文化振興にどのように取り組んでいるか伺う。

**答弁**　文化・芸術に携わる方々の発表や作品展示、「南沢獅子舞」など文化の伝承・継承のための支援を実施。

**要望**　発表の場でもある生涯学習センターの複合化建て替えについて、広く市民の意見も聞いて進めてほしい。

## 地域をつなぐまちづくり

**篠宮　よしのり（自民クラブ）**

**質問**　南沢通りの笠松橋南側については、仮舗装を行い暫定開放するとのことだが、橋梁部周辺については、どのような安全対策に取り組んでいくのか。

**答弁**　笠松橋への仮桟橋設置は、笠松橋南側の事業用地に橋を支える橋台などの設置が伴い、現時点では困難。仮舗装は原状回復が容易なため実施し、暫定開放していく。引き続き、安全に通行できるよう対策を講じていきたい。

**要望**　安全で円滑な通行環境が一日も早く確保されるよう求める。

**質問**　西武線沿線地域連携事業について、その目的と概要を伺う。

**答弁**　本市の魅力を発信し、観光振興や地域経済の活性化など、さまざまな相乗効果を生み出すことを目的としている。8年度は、市域を越えた街バルの実施を検討している。

**要望**　本市のブランド力向上へつながるよう、積極的な取り組みを求める。

## ほほえみあふれる東久留米へ

**今井　和史（自民クラブ）**

**質問**　道の駅設置に向けた検討について令和8年度の取り組みを伺う。

**答弁**　8年度からは、より詳細なデータの収集や需要分析を行い、住民、事業者、関係団体などから、さまざまな場面を通じて広くご意見を伺いながら、2年間で基本構想を策定していく。

**意見**　市内の商工業に携わる方々にとってもお店や商品のＰＲにつながり、新規顧客の獲得や販路拡大、新規事業へのチャレンジといった大きなビジネスチャンスになると考える。

**質問**　新たな農業振興計画の策定について、その概要と経過について伺う。

**答弁**　策定にあたっては各種調査やパブリックコメントを実施してきた。次期計画では、農業振興の将来像と4つの基本方針を掲げ、重要度・緊急度の高い取り組みや波及効果の大きい取り組みを重点事業と位置付け、推進体制や事業評価の仕組みを明確化した。

## 未来につなぐまち東久留米へ

**沢西　卓哉（自民クラブ）**

**質問**　公園の管理運営に係る公民連携の展開について伺う。

**答弁**　民間事業者に委託等を行っている公園の管理は、指定管理者制度やＰａｒｋ－ＰＦＩ制度の導入が可能となる公民連携制度活用のための改正を行うことにより、より質の高いサービスを提供することが可能になると考える。

**要望**　指定管理者制度やＰａｒｋ－ＰＦＩの活用に加え、ＣＳＲ活動や市民参加など多様な連携を広げるよう要望。

**質問**　防災上の観点から、今後のまちづくりに向けての取り組みを伺う。

**答弁**　敷地や建築物同士の密集を防ぐことで、火災時の延焼が抑えられる敷地面積の最低限度の設定について検討し、土地利用の現状や周辺環境の変化を踏まえ、建蔽率、防火地域および準防火地域の指定についても検討する。

**要望**　都市計画的手法も含めた規制誘導を適切に組み合わせ進めるよう要望。

## 交通事故のない安全なまちづくり

**野島　武夫（自民クラブ）**

**質問**　市内で発生した交通事故の件数、交通事故を未然に防ぐため令和7年度実施した交通安全対策について伺う。

**答弁**　令和7年に市内で発生した交通事故件数は133件、死者は1名。自転車が関与する事故は54件、自転車が当事者となる事故が事故全体の約4割を占める。カーブミラー、看板、標識の設置や修繕、ポストコーンや視線誘導標などの安全施設の設置や修繕、路面標示の追加や塗り直し、防護柵の修繕を実施した。

**質問**　発火事案が発生しているリチウムイオン電池を含む製品を他の廃棄物と確実に分別して収集することが不可欠。リチウムイオン電池の排出について、市としての取り組みを伺う。

**答弁**　4月より有害ごみの戸別収集の対象に新たに加え、既存の特定4品目と合わせた計9品目をご自宅前で迷わず排出できる体制に拡充する。

## 安心と健康長寿で暮らせるまちへ

**当麻　一哉（自民クラブ）**

**質問**　成年後見制度について、専門職後見人が資力のない方の後見人等を安心して受託するため、申し立て費用および報酬の助成の要件から市長申し立てを外すことが望ましいのではとの質問をした。検討状況を伺う。

**答弁**　調査、検討の中で報酬助成の要件などが整理できた。4月からの実施に向け、本人や親族による申し立てについても助成の対象とする方向で、要綱等を整理している。

**質問**　高齢化社会での健康長寿への取り組みは大変重要。その一つである認知症対策として、早期発見・早期治療、支援対策など本市の取り組みを伺う。

**答弁**　理解増進のため、認知症サポーター養成講座の開催。看護師等の問診、必要に応じ医療機関への受診勧奨などを行う、認知症検診事業の継続実施。生活支援コーディネーターの各地域包括支援センターへの配置などを行う。

## すみれ公園に防球ネットを設置へ

**髙橋　和義（公明党）**

**質問**　おくやみ窓口について、①設置への取り組み、②本市の手法を伺う。

**答弁**　①今年度から「おくやみ手続きナビ」と「おくやみハンドブック」の運用を開始。ワンストップ化については「書かないワンストップ窓口」実現への進捗をにらみつつ、検討を行う。②市町村の事例の共有も図り、現状の環境下での検討を考えている。

**質問**　ボール遊びのできる公園について、①すみれ公園選定の経過と周辺住民の声、②ネット等の附帯施設等は。

**答弁**　①市内小学生対象のワークショップで、久留米土地区画整理事業区域内にある２０００㎡程度の公園から選定。隣接住民宅へ訪問し、こどもの安全確保を望む声を複数いただいた。②ネットは、しあわせ広場と同等程度を想定。附帯施設等の詳細は現在検討中。

**要望**　過去に設置されていた水飲み場の再整備を要望。

## 現在から未来に繋がる市政運営を！

**三浦　猛（公明党）**

**質問**　市長は２０７０年の市制施行100周年に向け、「次世代が誇れるまち」への転換を掲げた。将来世代へ投資できる財政構造をどう構築していくのか。

**市長**　不断の行財政改革と「4つの新しい挑戦」による歳入確保で財政構造をより良い方向へ変えていきたい。

**質問**　今後の人口減少を踏まえ、生産年齢人口確保に向けた考えは。

**市長**　人口減少の抑制は容易ではないが、スタートアップ支援や駅前整備を通じて働く世代の確保に期待したい。

**質問**　市長任期2期目の4年間で市民が変化を実感できる成果指標をどう考えているか。

**市長**　代表的なものとしては、窓口改革等のデジタル化や公園整備等は成果を。駅前整備や道の駅、北部基幹公園等は構想策定により将来像を提示する。これらを通じ、50年先の未来に期待が持てる市政運営に全力で取り組む。

## 制度や分野の枠を超えたつながりを

**関根　光浩（公明党）**

**質問**　地域福祉コーディネーター配置事業をはじめとした支え合いの仕組みづくりの取り組みについて伺う。

**答弁**　重層的な支援体制の構築に向け、庁内関係機関との情報共有などを図り、民生・児童委員、東久留米市社会福祉協議会へ委託している地域福祉コーディネーター事業等との協力体制の検討を進めている。重層的支援体制整備事業と地域福祉コーディネーターの全エリアへの配置は同時に行っていきたい。

**質問**　データを有効活用した健康づくりの取り組み内容を伺う。

**答弁**　歯周病と糖尿病の健康への影響に着目し、特定健康診査における糖尿病に関するデータを基に、糖尿病リスクが高い方で、成人歯科検診を受診していない方への受診勧奨に取り組んでいる。引き続きデータを有効活用した健康づくりに取り組み、疾患の早期発見、早期対応につなげていきたい。

## 今夏の暑さを見据えた緊急支援を

**阿部　利恵子（公明党）**

**質問**　都の最終補正予算に盛り込まれた低所得世帯向けエアコン設置区市町村等緊急支援事業について、①事業概要、②本市の事業実施について伺う。

**答弁**　①低所得世帯を対象に、対象世帯が居住する住宅において使用するエアコン本体の購入、設置工事費などを補助。基準額は、東京ゼロエミポイント事業との併給を可として、1世帯当たり10万円。被保護世帯への事業概要も示されており、低所得世帯4分の3、被保護世帯10分の10の補助率。②準備が整い次第、速やかに提案したい。

**質問**　東京都において創設された「高齢者のデジタルデバイド解消に向けたスマートフォン活用支援事業」を導入し、高齢者でスマホを使いたいと願う市民への支援ができないか伺う。

**答弁**　他市の実施状況等を調査する中、補助制度のスキームに現時点で課題がある。引き続き調査していきたい。

## 市民の願いに寄り添った市政を

**北村　のり子（日本共産党）**

**質問**　中学校の給食は無償化が実現し、温かいスープが個別容器に入って提供されるようになった。喫食率について伺う。

**答弁**　令和6年12月までは60％から64％であったところ、令和8年1月末では、おおむね80％台後半で推移。

**質問**　残食率について伺う。

**答弁**　直近の集計である1月は、主食が19・6％、副食が24・1％。

**意見**　東久留米市こども・若者に関するアンケートの自由記述には給食の冷たさに不満を持つ意見が散見された。小学校同様の食缶による温かい給食の提供を望む。

**質問**　がんになった場合の市の支援および都内26市の支援実施状況を伺う。

**答弁**　本市では、助成の取り組みはない。都内でアピアランスケアに対する助成は21市で実施されている。

**意見**　本市でも実施の検討を求める。

## こどもの権利の周知と条例制定を

**鴨志田　芳美（日本共産党）**

**質問**　こども計画策定に向けたアンケート調査で「こどもの権利」の認知度が約半数だった。今後の取り組みは。

**答弁**　こどもの権利が守られることは大変重要なことと捉えている。これまでも健やかな成育環境を整え、ひいてはこどもの権利を守るため、こども家庭センターの開設や相談窓口の案内など各種の情報発信に努めてきた。できることから一つずつ取り組んでいく。

**質問**　こどもの権利条例制定のため、検討委員会の立ち上げ検討を求めるが。

**市長**　今後のこども計画策定においては、さまざまなこども版の計画書なども作成しながら、こどもたちに寄り添った計画にしていきたい。

**質問**　本庁舎の大規模改修では、女子トイレの便器数の増設ができるか伺う。

**答弁**　市民部から周知もいただいている。スペースの拡張が難しいと、今、担当としては考えている。

## 教育費、保護者負担軽減を

**永田　雅子（日本共産党）**

**質問**　令和7年第3回定例会での教育費の保護者負担の軽減の質問に対し、今後学校とも連携して他自治体での取り組みを調査・研究していくとの答弁があったが、その後の取り組み状況は。

**答弁**　3月の校長会において、再度、保護者負担軽減等について伝え、新年度に向け検討していくように指導した。

**質問**　就学援助制度の対象費目の拡充について、準要保護世帯は卒業アルバム代が支給されず自己負担であるが、多摩地域の他の自治体では支給を実施しているところもある。市が支給を実施しようと思えばできることだと思うが、できることか、できないことか伺う。

**答弁**　現状については、財政への負担ということで難しいものと考えている。

**意見**　財政上の負担で難しいということは、できることではあると認識した。また、別の機会で取り上げていきたい。

## 国保税値上げストップを！

**村山　順次郎（日本共産党）**

**質問**　多摩地域で下位に（安く）なるまで国保税引き上げを凍結すべきでは。

**答弁**　東久留米市国民健康保険運営協議会から、安定的な制度運営を確保するため、急激な税負担とならないよう極力配慮した上で「令和8年度国民健康保険税・税率等」に示す改定案が妥当との答申をいただいた。これを十分に尊重し、条例の改正を提案している。

**意見**　国と都が財政支援を行う必要があり、まずは、こどもの均等割負担の解消と被保険者の負担軽減が必要。

**質問**　駅西口昇降施設に関して市民の意見を聞く具体的手法と時期は。

**答弁**　電話や窓口のほか、広く、時間的制約なく伺えるご意見フォームで受け付けており、今後、整備計画策定などの機会を捉えて市民の皆さまの意見を伺うことも検討していきたい。

**要望**　時期について、来年度早々にも複数回設けてほしい。